

ハヤヨミ！ 看護政策 No.402

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2023年9月12日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

令和6年度介護報酬改定に向け 認知症の対応力強化など検討 — 介護給付費分科会 —

公開可

◎令和6年度介護報酬改定に向け認知症への対応力強化など検討

介護給付費分科会

8月30日に介護給付費分科会が開催された。令和6年度介護報酬改定に向けて①認知症への対応力強化②医療・介護連携、人生の最終段階の医療・介護③新しい複合型サービス④地域の特性に応じたサービスの確保⑤LIFE（科学的介護情報システム）について議論が行われた。

本会からは「認知症ケア」に関して、認定看護師などの専門人材の活用による、個別的なケアに関する助言や支援の重要性を提言した。また、「人生の最終段階の医療・介護」については、本人が望む場所での暮らしを最期まで支えるためには、利用者本人の価値観を尊重し意思決定を支えると同時に、その意思を尊重できる体制整備が重要であり、特養などの要介護度の高い方が入所する施設における看護職配置の充実の検討や、それが困難な場合には必要時に外部から訪問看護が入ることができる仕組みの充実、訪問看護の対応力のさらなる強化や看多機の推進の重要性などについて発言した。

また、LIFEは現在、訪問系サービスには導入されていない。本会はデータ入力負担軽減策や項目を精査した上で、訪問看護への導入を前向きに検討すべきと述べた。他の委員からは、LIFEを基にした事業所へのフィードバックなど、現在の実施状況に課題もあるとして、新たな領域への拡大に慎重な意見もあった。（執筆：田母神常任理事）

◎令和6年度診療報酬改定に向けたこれまでの議論の経過について報告

中医協総会

8月30日に中医協総会が開催された。主な議題は、令和6年度診療報酬改定に向けたこれまでの議論として、論点および委員からの主な意見についての資料の説明があった。

主な意見の中には、これまでの本会の発言もおおよそ含まれている。診療側からの

＜お問合せ先＞ 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>

意見はなく保険者側からは、今後出てくる検証調査の結果や、分科会などで行われている議論も含めて、次回以降議論を深めていきたいとの意見があった。また、令和4年度診療報酬改定時の答申書付帯意見では、医療の透明化の観点から、明細書無料発行について患者への情報提供の促進、さらなる促進の取り組みについて検討することとされたことから、安心、信頼して医療を受けられるように無料発行が推進されるよう引き続き検討をお願いしたいとの意見もあった。さらに、人口構造の変化によって、今後ますます厳しくなる状況において、質の高い医療保険制度の安定性、持続性を維持していくことは重要であるため、今後、論点や意見を踏まえつつ、秋以降の議論において、国民が質の高い医療を受けられる体制の確保、保険制度の維持などに向けて、効率化、適正化の議論が進むよう、データ提示やスケジュール管理を事務局をお願いしたいとの意見があった。

当資料が医療保険部会、医療部会での基本方針の取りまとめの議論の際にも示される予定。(執筆：木澤常任理事)

「ハヤヨミ！看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。